

すいろうしや

水漏舎小学校跡

日立市中成沢町2-24

日立市民運動公園野球場から北西へ約1キロメートル、住宅街の中に「池の川弁天池公園」があります。その一角に「成沢教育発祥の地 水漏舎小学校跡」の文字が刻まれた記念碑が建っています。この地が日立市立成沢小学校の前身、旧成沢村の水漏舎小学校が開設した場所になります。



明治5年(1872)に明治政府が公布した学制を受けて、翌明治6年7月24日、旧成沢村(現在の日立市)の有志により瀬谷登之介の住宅を借りて「水漏舎小学校」が開設されました。その後、まもなくして成沢小学校と改称されました。その頃の状況については、瀬谷家から日立市郷土博物館に寄託された『成沢小学校沿革誌』や『私学開業願』などの史料からうかがい知ることができます。

瀬谷登之介は、彰考館総裁、弘道館教授頭取などを務めた青山延光から「志那学(漢学)・数学」を学び、安政6年(1859)、22歳の時に家塾「水漏舎」を引き継ぎ、子どもたちの教育にあたってきました。この実績から瀬谷登之介を教員として小学校が開設されたのです。この時は有志による開設でしたが、8月になると成沢村の戸長らが茨城県に「成沢小学校」の名称で「私学開業願」を提出し、12月28日付で開校許可の通知を受けました。

こうして成沢小学校と改称され、瀬谷宅の大広間を教場としました。教員の給料、備品費、教材費などの運営経費の一部を成沢村の村費で補っていましたが、一村の負担では賄えず、明治10年(1877)1月に油縄子小学校と合併しました。

成沢小学校は、明治22年(1889)に場所を変えて再開しますが、日立市は、昭和29年(1954)、上水道の水源確保のため水漏舎の教場となった瀬谷宅を解体し、池の川水源池とすることにしました。昭和57年(1982)には枯渇した水源池を「池の川弁天池公園」として整備し、現在に至っています。

水漏舎の跡地は、平成19年(2007)1月に有志により記念碑が建てられ、平成27(2015)3月、史跡として日立市指定文化財となりました。

茨城教育 第八七二号

令和五年六月二十日発行

編集責任者 鹿志村 則男

発行人 鹿志村 則男

発行所 一盤詰突 茨城県教育会

水戸市見和一三五六一一

電話 〇二九一二二一七四七

印刷所 有限会社山田軽印刷所